



いたってシンプルです。それゆえに全体のバランスが難しい。型紙を作ったに必ず新聞紙などで組み立てて実際「着て」ください。スカート丈、スカートの広がり袖丈、そで口の広がり、衿の大きさ、ひとつ違っても全体のバランスが崩れます。自分の身長体格でかならずチェックしてください。ボックスプリーツはしっかり広がるようたたみ分を大きく取ってください。しょぼいプリーツは安っぽい仕上がりの原因の一つになります



材料白はブロードより厚い綿の平織り生地を使用(透け防止もありますが)あや織り生地は制服ブラスのイメージじゃない！？スカートは今回1回ネタと割切ってシーチング+裏地付個人的にシーチングはコスプレ用生地としてはあまりおすすめしません、薄いし、退色しやすいです。アスカ制服はスカートの色が最大のポイントだと思うので自分の気に入った色が見つかるまでとにかく歩き回って探してください。ホントに皆いろんな色で作っているので...(笑)



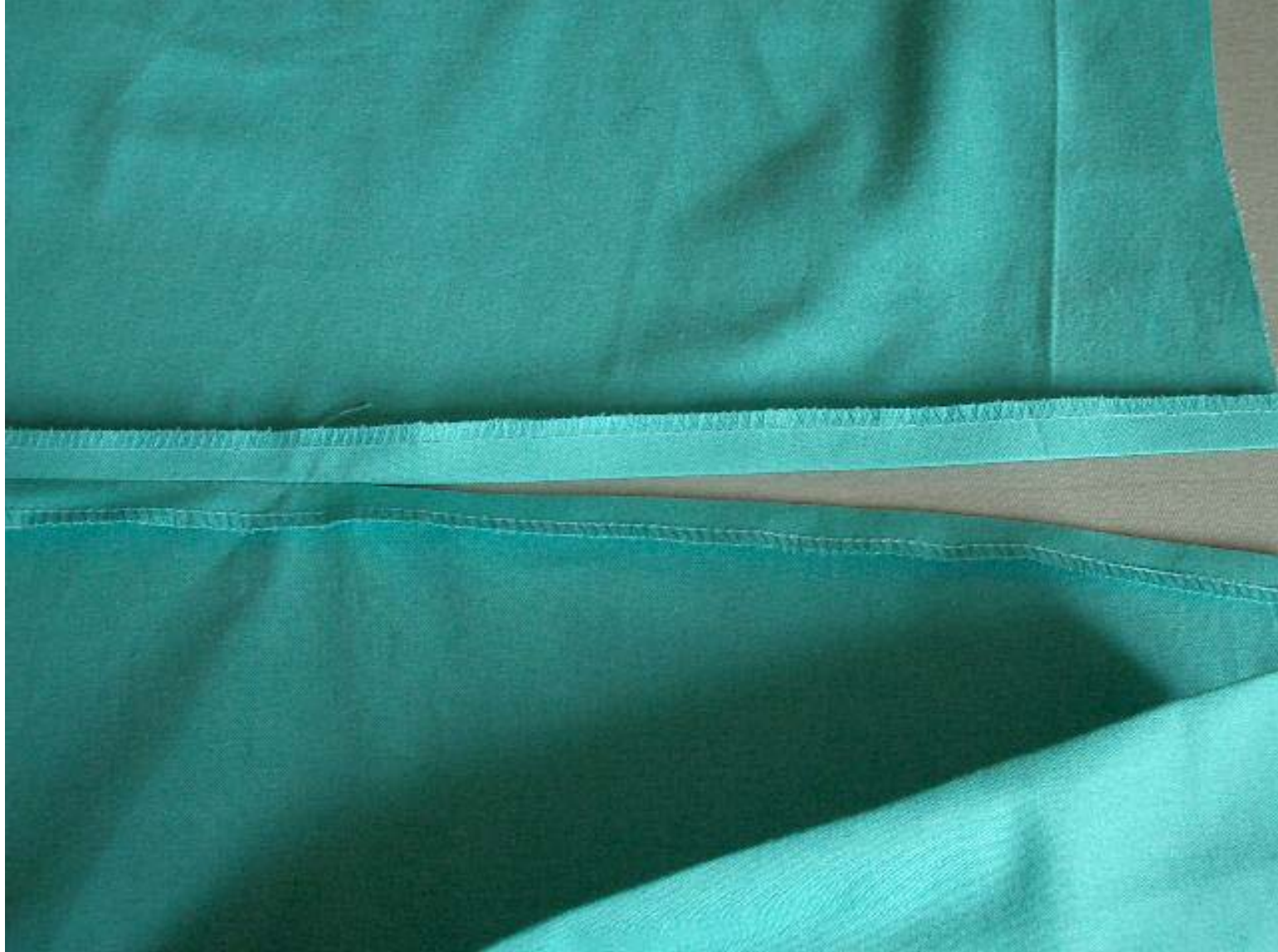
パーツ切り出し。肩ひも部はそのままの形で抜くと布のムダが多すぎるので左右分割で背中心線でつなぎます。(いや単に布の量がギリギリしか買ってたもんで)



前後プリーツが入ったら脇ファスナーをつけていきます。自分が右につけたいのか左につけたいのかよく考えて付けてください。(普通は右とか考えていると実は反対につけないといけない場合も出てくるのがこの世界ですので)



ファスナー部より下を先に縫い合わせます。



縫い代を割りファスナーがつく直線部分は丁寧に出来上がり線で折る。



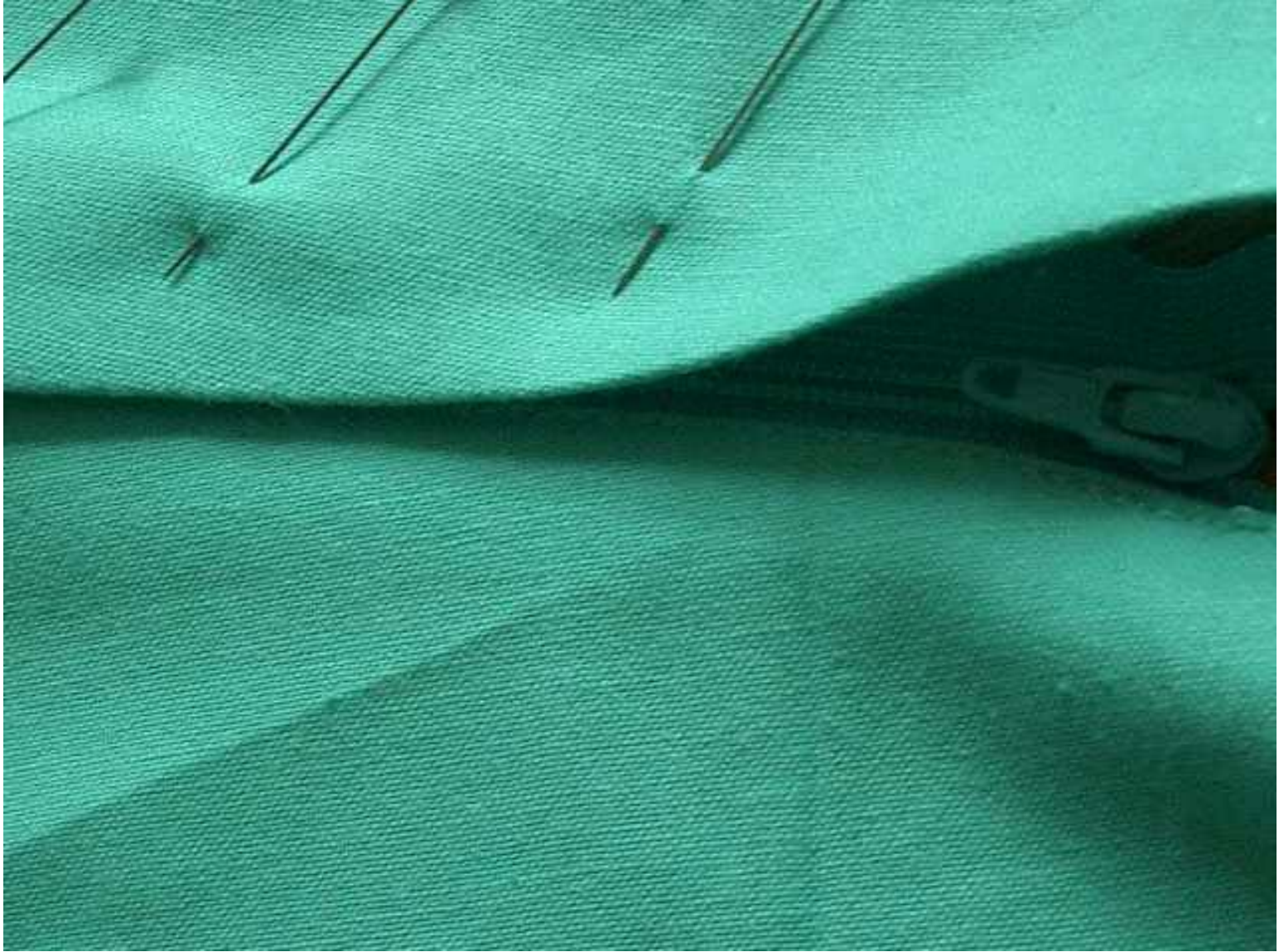
後ろスカート側(下になる側)〔を本当なら0.2-0.3ミリ持ち出して縫い代を折るのだが、正しいつけ方は市販の本で確認してね。〕にファスナーを固定。しつけ両面テープなどを使う時は縫い込まないように縫い目より遠い位置につける。



ファスナー用押さえを
使って布端から2ミリく
らいの場所を下から上
へ向かってゆっくり縫っ
ていく。



楽にスライダーが動くか確認。



前スカート(上にくる側)を重ねファスナーが見えないよう2 - 3ミリ重ねるようにして固定。



ファスナー押さえを逆に付け替え、先ほどと同じ方向へ(下から上へ)押さえミシンをかける。スライダーのある部分はどうしても曲がるので曲がるのが嫌な人は2 - 3センチ手前で針を降ろしたまま止め、押さえを上げてスライダーを下げてしまう。押さえを下ろしファスナーが開いている状態で端まで縫うとまっすぐ縫える。



スライダーが楽に動く事を確認する。



裾上げ。持っていたらヘラが便利。アイロン板のような少しやわらかい場所で出来上がり線どおりにくせをつけていくとアイロンで折るときに楽、曲線はこれに限る。



普通にプリーツをたたむと内側の布がはみ出してくるのでプリーツの中の布は多めに織り上げてはみ出さないようにする。こういうところを放置すると安っぽくなる。



ボックスプリーツの裏側。端ミシンをかけておくとプリーツがキマる。



肩ヒモは中心でつないでを二重に作って周りを全部縫ってから裏返します。ウエストベルトをつけたスカートの内側にテキトーにつけてください。人によっては付け外しにしたほうが着替えの時に楽なようです。仮縫いのまま着替えてみて確認してください。



ブラウスの型



完成